

5年生へオリエンテーション

目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す

パワーポイントのスライドの白い文字を読むと説明できるようになっています。

説明のポイント

4技能

英語の力には「聞く・話す・読む・書く」の4つが必要です。

小学校段階では、「聞くこと」「話すこと」を中心に学習します。

「読むこと」「書くこと」は中学校で本格的に学習するため、小学校では完璧でなくても大丈夫です。

→ 子どもたちには「中学校でやるから、今できなくても大丈夫だよ」と伝えて、安心感を与えてください。

アルファベット

ただし、「アルファベット」は例外です

中学校では、「アルファベットは読めて書ける」ことが前提で授業が進みます。

→ アルファベットは必ず書けるようになることという目標を持たせてください

だいたい生徒は「ローマ字で習ったから、アルファベットなら簡単！」と言います。

実際には形を認識していても正しく書けない生徒が多くいます。アルファベット順に書くというのも、難しいです。アルファベットを書く練習をしていないと、自信と現実にギャップが生じます。ちなみに、ローマ字はl, q, v, xはありません。

先生方をお願い

「書き写し」は重要！

暗記してスラスラ書ける必要はありません。

ただし、文字を正しく「書き写す力」はとても大切です。

指導ポイント：1つのことば（単語）は、間をあげずに書く

例：

× p e n → ○ pen

× H a n y u Y u z u r u → ○ Hanyu Yuzuru

→ このルールがわかっていると、中学校に入って英語の文を書いたり読んだりする際の混乱が少なくなります。

スライド 4 枚目



元の画面

カーソルを白い部分に持っていくと、このように見えます。黄色の三角を押してください。クリックすると「I like basketball. I like basketball.」と2回言います。もう一度聞きたい場合は、再度黄色の三角を押してください。

スライド 6 枚目



元の画面

カーソルを白い部分に持っていくと、このように見えます。黄色の三角を押してください。1回読みあげます。もう一度聞きたい場合は、再度黄色の三角を押してください。